

令和 5 年度 愛媛大学
中学校教諭二種（英語） 免許法認定通信教育
実施要項



愛媛大学免許法認定通信教育事務局

令和5年度 愛媛大学 中学校教諭二種(英語) 免許法認定通信教育 実施要項

1. 目的

本通信教育は、文部科学省委託事業「教員養成機関等との連携による専門人材育成・確保事業（小学校外国語のための免許法認定講習等実施事業）」に基づき、愛媛大学が松山市教育委員会と連携して実施する通信教育です。小学校の現職教員が、中学校教諭二種免許状（外国語（英語））の取得に必要な単位を修得し、小学校における外国語教育の専門性の向上と、その指導体制の充実を図ることを目的としています。また、本通信教育の一部を外国語指導助手や英語が堪能な地域人材等の外部人材も受講可能とすることで、特別免許状教員等の活用を促進することも目的としています。

※本通信教育は単位修得のみを目的としています。

※免許状の取得には、本通信教育とは別に行政手続きが必要です。

※免許申請は、小学校教諭普通免許状を取得した後、小学校（特別支援学校小学部を含む）における教諭または講師（非常勤を除く）として3年以上の実務経験が必要です。

※免許状の取得に必要な単位数等については、受講申込み前に所属の教育委員会の教員免許状担当部署にご自身でお問い合わせください。

2. 開講期間

令和5年7月18日(火) ～ 令和5年12月8日(金)

3. 実施機関

愛媛大学教育学部

4. 受講対象者

(1) 小学校教諭普通免許状を有している者。

(2) 【「英語コミュニケーション」の4つの科目限定】

外国語指導助手等の立場で小学校外国語活動の授業に携わった経験があり、当該所属長等からの委嘱状や依頼状により証明できる者。

※ご経験当時の所属長等からの委嘱状や依頼状など、その経験を証明できる交付された文書の写し等で証明していただけます。

5. 開講科目と単位数

小学校教諭普通免許状を有し、その免許状を取得した後、当該学校種における教諭または講師（特別支援学校の小学校部の教諭または講師を含む）として3年以上の在職経験があり良好な成績をおさめていること、そして、「教科及び教職に関する科目」計14単位を修得することによって、免許状を取得することが可能です。本学では、令和5年度には、このうちの12単位分を開講・実施します。

詳しい開講科目の概要・講師については別紙1をご確認ください。

科目名	単位
(1) 英語学 A (第二言語習得論)	1
(2) 英語学 C (英語語用論)	1
(3) 英語文学 B (英語圏文学)	1
(4) 授業英語コミュニケーション A (Classroom English and Teacher Talk)	1
(5) 授業英語コミュニケーション B (Creating Lesson Plans)	1
(6) 授業英語コミュニケーション C (Using ICT Strategies)	1
(7) 授業英語コミュニケーション D (Paragraph Writing)	1
(8) 異文化理解 A (グローバル・コミュニケーション・スキル)	1
(9) 異文化理解 B (社会言語学)	1
(10) 英語科教育法 B	1
(11) 生徒・進路指導論	1
(12) 教育相談	1

6. 受講方法

本認定通信教育では、愛媛大学が独自に開発した遠隔学習支援システム「志（こころざし）」及びビデオミーティングシステム Zoom[®]を用います。各自インターネット接続が可能なパソコンをご準備ください。詳細については、別紙2を確認ください。

① 「志」に登録し
動画を視聴する



② Zoom[®]でリアルタイム遠隔授業、最終試験
を受ける（本人確認のため）

7. リアルタイム遠隔授業および最終試験について

(1) リアルタイム遠隔授業及び最終試験について

実施日時が決まっておりますので、お申し込みの前に必ず別紙3をご確認ください。

リアルタイム遠隔授業及び最終試験では、Zoom[®]を用いてリアルタイムで実施し、出欠の確認を行います。必ず、事前に各自お使いのパソコンでZoom[®]へログインをし、ミーティングへご参加可能であること、正常に作動することをご確認ください。キーボードとカメラが搭載された端末（パソコンを推奨）をご準備ください。

Zoom[®]のミーティングID やパスワードについては、遠隔学習支援システム「志」の当該科目「講座お知らせ」欄等に掲載しご案内いたします。

(2) 最終試験について

すべての科目において、最終試験をZoom[®]を用いたオンラインで実施します。

開催の日程は決まっておりますので、お申し込みの前に別紙3をご確認ください。

日程は事前に設定しておりますので、ご都合により受験できない場合には、別途対応は致しかねます。

8. 受講料（テキスト代別）

システム利用料	科目受講料
5,000 円	1 科目につき 5,000 円

例：3 科目を受講した場合

→システム利用料 5,000 円 + 5,000 円 × 3 科目 = 20,000 円

9. 受講出願から履修開始までの流れ

(1) 準備物について

- ご自身の顔写真付きの身分証明書（ご本人確認用：運転免許証，マイナンバーカードなど）
- 学校勤務の方は所属長の承認 **別紙様式 1**（受講承諾書）。

それ以外の方は届出 **別紙様式 2**

※ 別紙様式 1 または 2 のいずれか 1 通を必ず提出のこと

教員免許状の取得を目的とせずに「授業英語コミュニケーション」に限定して受講する方で，外国語指導助手等の立場で小学校外国語活動の授業に携わった経験がある方は，当該所属長等からの委嘱状や委任状の写し。（申し込み時点で所属が無い外国語指導助手等の経験者の方は，当時の所属長等からの委嘱状や依頼状など，その経験を証明できる文書の写し。）

- メールアドレス

容量の大きな添付ファイルの受信が可能なメールアドレスを推奨します。

事務局からメールでご連絡する場合がありますので，随時，ご確認ください。

(2) 受講出願から履修開始までの流れ（随時ホームページのお知らせ欄をご確認ください。）

<div data-bbox="256 1536 347 1574" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">Step 1</div> <div data-bbox="213 1585 392 1617">Web 出願提出</div>	<p>■ 出願内容の入力・必要書類のアップロード</p> <p>愛媛大学免許法認定通信教育ホームページ-入学案内-Web 出願-から，受講されるコースをご選択の上，必須入力項目の入力，選択，必要書類をアップロードしてお申し込みください。</p> <p><u>各科目，申込期限より前でも，定員に達し次第，締め切らせていただきますので，お早めに出願手続き完了までをお済ませください。</u></p> <p style="text-align: center;">申込期限 令和 5 年 7 月 21 日（金） 23：59</p> <p>※Web 出願から，履修開始まで約 1 か月の期間がかかります。</p> <p style="text-align: center;">(Step 1 ~ Step 4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Step 1 の Web 出願の時点では，出願手続きは未完了。 ・ Step 4 の事務局にて「受講料」の入金が確認でき次第，出願手続き完了。 <p>※本通信教育はオンデマンド型のため，初日からの受講ではなくてもすべての内容の受講が可能です。</p> <p>※Web 出願完了後，自動返信メールが登録のメールアドレスに送信されます。</p> <p style="text-align: center;"><u>出願内容（氏名・電話番号・メールアドレス・受講希望科目・科目数・受講料・現住所）について必ずご確認ください。</u></p> <p>※Web 出願の内容に変更が生じた場合，再出願受付期間内であれば再出願が可能です。</p> <p style="text-align: center;">再出願受付期間 Web 出願より 5 日間</p> <p>ただし，再出願受付期間の Web 出願より 5 日間であっても，7 月 21 日（金）23：59 を過ぎての出願はできません。</p>
--	--

	<p>再出願である旨を備考欄に記載の上、<u>氏名・電話番号・メールアドレス</u>は、既に出願した内容と同一にして出願してください。再出願された場合には、既に出願した内容は取消し扱いとなります。</p> <p>申込期限を過ぎての受付・申込変更・取消しは致しかねます。</p>
<p>Step 2 「振込依頼書」の確認</p>	<p>■振込依頼書（はがき型）の受取・「ご請求金額」等の内容確認</p> <p>コンビニエンスストア決済用「振込依頼書（はがき型）」を、登録されたご住所に郵便にて送付いたします。</p> <p>出願手続き完了後の各種変更や追加、取消及びそれに伴う<u>返金手続きは致しかねます</u>。必ず振込依頼書に記載されている「ご請求金額」と、お申込みをいただいた科目数の合計受講料が一致していることをご確認ください。内容に誤りがあった場合や、ご不明な点がある場合は、<u>お振込をされる前に事務局までメールにてお問い合わせ</u>ください。</p> <p>振込依頼書には「支払期限」が設定されており、期限を過ぎると使用できません。振込依頼書の再発行依頼を受付けますので、事務局までメールにてお問い合わせください。その際、再発行手数料が必要となります。</p>
<p>Step 3 受講料のお振込</p>	<p>■お振込・払込受領証（お客様用）の保管</p> <p>「振込依頼書」を使用し、コンビニエンスストアにてお振込ください。</p> <p><u>振込期限：はがきに記載されている振込期限をご確認ください。</u></p> <p>受講料のお振込についての証明書等の発行は事務局では致しかねますので、払込受領証（お客様用）は、大切に保管してください。振込完了の通知はいたしません。</p>
<p>Step 4 手続き完了</p>	<p>■手続き完了</p> <p>事務局にて「受講料」の入金が確認できた方には、「受講決定通知書」がご登録のメールアドレスに送信されます。受講科目に間違いがないかをご確認ください。</p> <p>ご提出の書類に不備等がない場合は、これで出願手続き完了となります。提出書類・内容等に不備がある場合は、事務局よりご連絡させていただきます。</p> <p>※ 受講料をお振込後、事務局で入金確認ができるまで数日程度かかります。</p>
<p>Step 5 「志」へのログイン</p>	<p>■「志」の UserID・Password の受取・受講に向けての準備</p> <p>遠隔学習支援システム「志」へログインするための「UserID・Password」が、受講料振込完了から1週間程度でご登録のメールアドレスに送信されます。受講料振込完了から2週間経過してもメールが届かない場合は、お手数ですが事務局までご連絡ください。</p> <p>「UserID・Password」を受け取られましたら、受講に向けての準備として、「志」へのログインをお試しください。</p> <p>「志」へログインができましたら、顔認証のためにご自身の顔画像を登録し、事務局の承認をお待ちください。登録された顔画像の承認は、事務局が平日11時頃に行います。顔画像の登録を実施されたデバイス（複数登録可）で受講は可能ですが、顔認証の精度を上げるため、できる限り同じ環境下での受講を心掛けてください。</p>



履修開始

(3) 受講中の顔認証について

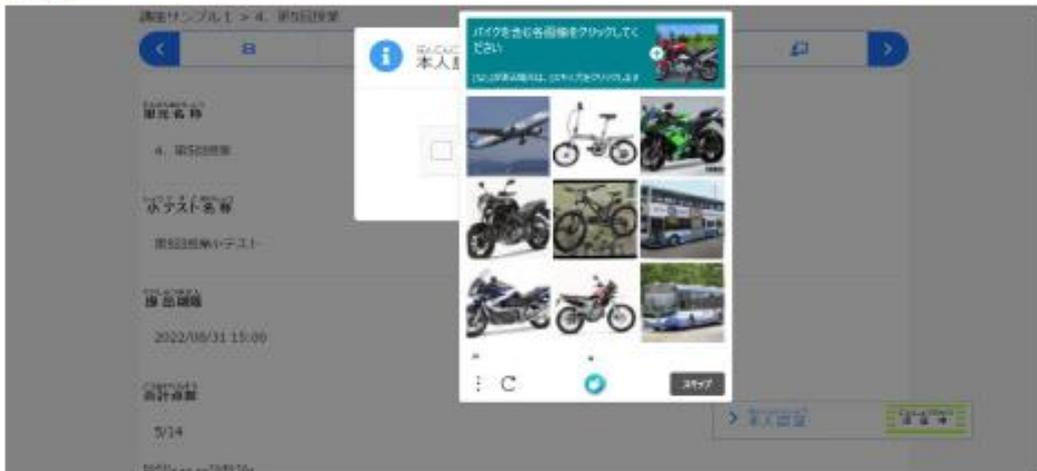
- 別紙2を併せてご確認ください。
- 本免許法認定通信教育は、着座率を確認するために、遠隔学習支援システム「志」で動画視聴中、操作時ほかランダムに顔認証を行っております。これは、文部科学省から、出席率（動画視聴等）やレポートの提出が本人により行われていることを確実に確認するように指導を受けているためです。そのため、リアルタイム遠隔授業及び最終試験はビデオミーティングシステム（Zoom[®]等）を使って事務局が本人確認を実施しながら行いますので、ご了承ください。
- リアルタイム遠隔授業及び最終試験では、キーボードとカメラが搭載された端末（パソコンを推奨）をご準備ください。
- 「志」では動画視聴中に、画面右下に顔認証の状況が表示されます。必ずカメラが接続され、オンになっているかをご確認ください。カメラがオンになっているにも関わらず『本人認証NG』が表示された場合、画面右下の「本人認証」から受講中断をし、正しく認証されるために正面を向いて受講再開をしてください。顔認証がNGとなったままで受講している場合、成績評価時に本人が受講していると認められない場合がございますので、ご注意ください。

※顔認証で複数回 NG が出た場合など、CAPTCHA 認証（画像・音声・文字入力の 3 種類）が表示されることがあります。CAPTCHA 認証が受講中に画面に表示された場合はご対応ください。なお、表示される CAPTCHA 認証はアクセシビリティ設定で変更可能です。ご自身が答えにくいと思われる認証方法は、あらかじめアクセシビリティ設定でチェックを外してください。

- リアルタイム遠隔授業の開始時と終了時に、「志」の小テストによる顔認証を利用して本人確認を行います。リアルタイム遠隔授業前に必ずカメラが接続され、オンになっていることを確認してください。カメラがオフの場合は CAPTCHA 認証（画像、音声、文字入力による認証）を求められます。その場合は、カメラをオンにしてもう一度小テストに取り組んでください。

CAPTCHA認証を変更した場合

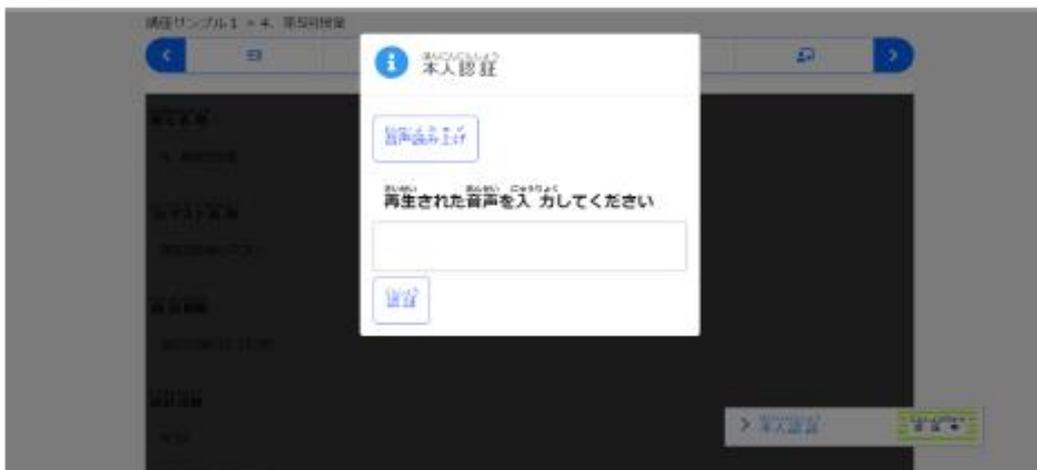
画像



文字



音声



(4) 成績審査の方法

成績審査は、①課題（確認テスト or レポート）の提出状況、②リアルタイム遠隔授業での課題提出、③最終試験の結果の3点を総合して審査します。

- 最終試験の受験資格（こちらを満たしていない場合には、受験いただいても原則審査しません。）
 - ・ 動画の視聴期限までに、「志」上の受講科目の動画を原則80%以上視聴していること。
 - ・ 課題（確認テスト or レポート）を全て提出していること。
- 総合的に審査した結果、合格した方に「単位修得証明書（学力に関する証明書）」を発行します。書類は令和6年2月中旬に送付予定です。
- 「単位修得証明書（学力に関する証明書）」の先行発行は致しかねます。

10. 免許状の取得について

免許状を取得するには、「単位修得証明書（学力に関する証明書）」を所属の教育委員会にご自身で提出する必要があります。免許状の取得申請については、受講前に所属の教育委員会の教員免許状担当部署にご自身でご確認ください。

11. その他

- (1) 人権を侵害する行為（例：ハラスメント）、試験等における不正行為・論文やレポート等の作成における学問的倫理に反する行為（例：剽窃行為）、教育研究等の業務を妨害する行為（例：授業妨害）等は、愛媛大学学生懲戒処分規定に準ずる形で対処いたします。
- (2) 受講期間中、やむを得ず通信教育を辞退する場合には、必ず別紙様式3の受講辞退届を記入し、辞退届受理期限内に「12. 問い合わせ先」の愛媛大学免許法認定通信教育事務局までメールにてご提出ください。辞退される場合（受講科目間違い等の辞退も含む）、受講料の返還はいたしません。

辞退届受理期限：令和5年11月13日（月）

- (3) 提出された個人情報、本通信教育に関わる目的にのみ使用し、他の目的には使用いたしません。
- (4) 事務局の休業について
土曜日・日曜日・祝日
夏季休業：令和5年8月14日（月）～令和5年8月16日（水）
冬期休業：令和5年12月28日（木）～令和6年1月3日（水）

12. お問い合わせ先

愛媛大学免許法認定通信教育事務局

メールアドレス： eu.nintei@gmail.com

ホームページ： <https://ninteikoshu.ed.ehime-u.ac.jp/>

※ お問い合わせの前に、FAQ（よくある質問）をご確認ください。

開講後も随時更新します。

※ それ以外の質問は受講者専用お問い合わせフォームをご利用ください。



令和5年度 愛媛大学中学校教諭二種（英語） 免許法認定通信教育
開設科目及び担当講師一覧・テキスト

免許状の種類	免許法別表第8対応科目	免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設科目名 (授業科目名)	科目の概要 (講師名)	授与単位	実施期間	受講定員
		科目	各科目に含める必要事項	中心となる領域 含む領域				
*中二種免（英語）	○	教科	英語学	*○英語学 A (第二言語習得論) (R5 認定通信)	本講義を通して、1. 母語習得と第二言語習得との類似・相違点について述べるができる、2. 基本的な第二言語習得のプロセス及び主な理論について説明できる、3. 第二言語習得と様々な個人差（年齢、動機、適正、性格など）との関係を理解することができる、4. 自分が教える生徒を念頭に、より効果的な外国語としての英語の指導方法とは何かを考えることができる、ことを目指す。 (津島里佳・中山晃・長崎睦子)	1	令和5年 7月18日～ 令和5年 12月8日	50
中二種免（英語）	○	教科	英語学	○英語学 C (英語語用論) (R5 認定通信)	コミュニケーションにおいて、同じ文を発しているにもかかわらず、文脈の中で発話されることにより伝わる意味は幾通りにも異なる。本科目では、このような現象を説明する「語用論」の代表的な理論について概説する。また、実際の会話場面（英語・日本語）を例にとりながら、発話の解釈や齟齬の発生について分析する。 (三浦優生)	1	令和5年 7月18日～ 令和5年 11月16日	50
中二種免（英語）	○	教科	英語文学	○英語文学 B (英語圏文学) (R5 認定通信)	英語圏の文学に関する素養は、英語ということばの裏側にある文化や思想を理解するうえで重要な役割を果たすものである。本科目では、英語圏の文学でも大きな地位を占めるイギリス文学とアメリカ文学について、代表的な作家・作品を取り上げ、作風や思想、時代背景、テーマなどを学んでいくことで、英語教員としての専門知識の基礎づくりを目指す。また、文学作品の内容のみならず、原文に触れることを通じて、文学における「ことば」という側面にも意識を向けられるような授業としたい。 (松村聡子・児玉晃二)	1	令和5年 9月4日～ 令和5年 12月8日	30
中二種免（英語）	○	教科	英語コミュニケーション	○授業英語コミュニケーション A (Classroom English and Teacher Talk) (R5 認定通信)	英語での聞く・話すに焦点を置き、様々な文脈・言語活動における教室英語 (Classroom English) の解説を行う。特に、児童・生徒に英語の発話を効果的に促す英語表現や、ALT からの指示の英語表現など、授業というシチュエーションで必要とされる英語表現について学ぶ。 (Ian Downer)	1	令和5年 7月18日～ 令和5年 12月8日	30

免許状の種類	免許法別表第8対応科目	免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設科目名(授業科目名)	科目の概要 (講師名)	授与単位	実施期間	受講定員
		科目	各科目に含める必要事項	中心となる領域 含む領域				
中二種免(英語)	○	教科	英語コミュニケーション	○授業英語コミュニケーションB (Creating Lesson Plans) (R5 認定通信)	英語の授業案をALTに効果的に説明したり、授業中のALTとの連携に際する英語表現の解説を行う。特に、日本語で指導案を作成した後、英語でその指導案の内容をALTに伝達する際の基本的英語表現の他、指導における基本的英語表現や活動に際しての英語によるアクティビティ・ファシリテーション(Activity Facilitation in English)についても学ぶ。 (Harry Carley)	1	令和5年7月18日～ 令和5年12月8日	30
中二種免(英語)	○	教科	英語コミュニケーション	○授業英語コミュニケーションC (Using ICT Strategies) (R5 認定通信)	社会において、様々な情報通信技術(Information and Communication Technology: ICT)を活用する場合に用いられる英語表現とその特徴について解説する。特に、プログラミング等も含めたICTを活用した英語でのコミュニケーション活動について、英語使用の実践事例を紹介しながら、英語表現の理解を深め、表現力の向上を目指す。 (Scott Webber)	1	令和5年7月18日～ 令和5年12月8日	30
中二種免(英語)	○	教科	英語コミュニケーション	○授業英語コミュニケーションD (Paragraph Writing) (R5 認定通信)	英語での作文を扱う。特に、パラグラフ・ライティングに必要な知識とスキルを学ぶ。様々なトピックスに対して、自分の意見や主張を、理由と具体例をもってサポートし、簡潔でまとまりのある英文の作成方法を学ぶ。加えて、英作文指導に必要な英語表現についても学ぶ。 (Julia Mika Kawamoto)	1	令和5年9月4日～ 令和5年12月4日	30
中二種免(英語)	○	教科	異文化理解	○異文化理解A (グローバル・コミュニケーション・スキル) (R5 認定通信)	個人、すなわち私たち一人ひとは、社会という「環境」から、どのような影響を受けるか。また、任意の集団の中で、どのように振る舞うのか、そしてその行動の背景にある要因は何であるか。このような問いに対して、日本における言語・文化環境を軸として、他国、特に英語圏における言語・文化環境との比較を通して、言語・非言語コミュニケーション上の行動のメカニズムについて理解を深めることで、グローバル化する世界・社会において、どのように対応するべきか、手がかりが得られると言える。また、このコースでは、心理・言語学の視点も取り入れ、グローバル化した世界における様々なコミュニケーション上の課題について、これまでの知見や最近の研究成果を踏まえながら検討する。 (大谷みどり・中山 晃)	1	令和5年7月18日～ 令和5年11月17日	50

免許状の種類	免許法別表第8対応科目	免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設科目名(授業科目名)	科目の概要(講師名)	授与単位	実施期間	受講定員
		科目	各科目に含める必要事項	中心となる領域 含む領域				
中二種免(英語)	○	教科	異文化理解	○異文化理解 B (社会言語学) (R5 認定通信)	本授業では、日本という言語・文化的環境において、外国語、すなわち英語を教育するという意味を、社会言語学の研究成果から吟味し、さらに様々な文脈(日常生活、風俗習慣、地理・歴史等)における言葉の教育のあり方を、異文化理解という枠組みで検討する。 (中山 晃・大谷みどり)	1	令和5年7月18日～ 令和5年11月17日	50
中二種免(英語)	○	教職	各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	英語科教育法 B (R5 認定通信)	英語という言語の音声面に関する基礎的な理解を深め、現実場面に応用する力を養うことを目指す。具体的には、第一に、人はどのように音声を発しているのか、音素とは何か、英語にはどのような母音と子音があるのか、音節とは何か、アクセントとは何かといったトピックに関して、日本語との相違点に注意しながら、理解を深める。第二に、音声の知識をもとに自身の発音技術を指導する力を養う。 (関谷弘毅)	1	令和5年7月18日～ 令和5年11月17日	30
*中二種免	○	教職	生徒指導の理論及び方法、進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	生徒・進路指導論 (R5 認定通信)	生徒指導は、学校教育における教科学習の内容以外に関する幅広い活動である。教育の目的が人格の完成にあることを考えると、生徒指導は学校生活のあらゆる場面で機能する必要がある。そのため、授業の前半では生徒指導の意義や原理、方法等の基礎を学ぶとともに、事例検討を通して生徒指導の機能を発揮させる方法を考える。後半では、生徒指導と密接に関連している進路指導について、キャリア教育の観点から理論的・実践的な検討を行う。 (梅田崇広)	1	令和5年7月18日～ 令和5年11月17日	50
中二種免	○	教職	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	教育相談 (R5 認定通信)	近年、学校現場での必要性・重要性が増してきた教育相談について、支援と対話の視点から講義を行う。支援については、いじめや不登校の背景、学校及び地域での支援について概説する。対話については、教育相談の専門性に触れた上で、教育相談の実際や児童生徒との教育相談のあり方について概説する。また科目内容に関するレポート課題の作成を通して、学びを深めたい。 (信原孝司・榎木暢子)	1	令和5年7月18日～ 令和5年11月17日	50

*中二種免(英語)は、「中学校教諭二種免許状(外国語(英語))」を示します。

*中二種免は、「中学校教諭二種免許状」を示します。

*開設科目名に○印を付した科目は、施行規則に定める科目区分等の各科目における一般的包括的内容を含む科目であることを示します。

担当講師一覧

科目	講師	所属等
英語学 A (第二言語習得論)	津島 里佳	愛媛大学教育・学生支援機構 英語教育センター 准教授
	中山 晃	愛媛大学教育・学生支援機構 英語教育センター 教授
	長崎 睦子	獨協大学 外国語学部交流文化学科 教授
英語学 C (英語語用論)	三浦 優生	愛媛大学教育・学生支援機構 准教授
英語文学 B (英語圏文学)	松村 聡子	関東学院大学 国際文化学部 教授
	児玉 晃二	関東学院大学 国際文化学部 准教授
授業英語コミュニケーション A (Classroom English and Teacher Talk)	Ian Downer	愛媛大学教育・学生支援機構 助教
授業英語コミュニケーション B (Creating Lesson Plans)	Harry Carley	松山大学人文学部英語学科 常勤講師
授業英語コミュニケーション C (Using ICT Strategies)	Scott Webber	愛媛大学教育・学生支援機構 英語教育センター 助教
授業英語コミュニケーション D (Paragraph Writing)	Julia Mika Kawamoto	愛媛大学教育・学生支援機構 英語教育センター 教授
異文化理解 A (グローバル・コミュニ ケーション・スキル)	大谷 みどり	島根大学教職大学院 特任教授
	中山 晃	愛媛大学教育・学生支援機構 英語教育センター 教授
異文化理解 B(社会言語学)	中山 晃	愛媛大学教育・学生支援機構 英語教育センター 教授
	大谷 みどり	島根大学教職大学院 特任教授
英語科教育法 B	関谷 弘毅	東洋英和女学院大学 人間科学部 准教授
生徒・進路指導論	梅田 崇広	愛媛大学 教育学部 講師
教育相談	信原 孝司	愛媛大学大学院教育学研究科 教授 心理発達臨床専攻 専攻長 心理発達臨床相談室 相談室長
	榎木 暢子	愛媛大学大学院教育学研究科 教授 愛媛大学付属特別支援学校 校長

テキスト

本年度開講の各講座では以下のテキスト等を使用しますので、お持ちでない方は事前の購入をお願いします。テキスト代は受講者負担となります。オンライン書店での購入をお勧めします。本事務局では販売の取次は致しません。

科目	指定教科書
英語学 A (第二言語習得論)	「はじめての第二言語習得論講義：英語学習への複眼的アプローチ」 馬場 今日子・新多 了(著) 大修館書店 税込 2,090 円
異文化理解 A (グローバル・コミュニケーション・スキル)	「概説 社会言語学」 ひつじ書房 税込 2,420 円
異文化理解 B (社会言語学)	「概説 社会言語学」 ひつじ書房 税込 2,420 円
英語科教育法 B	映画「アナと雪の女王」の DVD ※「アナと雪の女王 MovieNEX【ブルーレイ+DVD+デジタルコピー+MovieNEX ワールド】」など。 ※様々なバージョンがありますが、 <u>英語の音声</u> が再生でき、 <u>字幕を英語と日本語に切り替えられるもの</u> 。 ※受講期間にサブスクリプションやレンタルなどでご用意いただいてもかまいません。

※上記以外にも、テキストが必要となる場合がございます。

その場合、「志」の講座お知らせページ等でご案内をさせていただきます。

1. 「志」について

「志」とは、安心・安全に教育の質を保った授業を継続していくため、講義型やディスカッションを伴う授業など、通常対面で行う授業についても遠隔で実施ができる遠隔学習支援システムです。生体認証機能等を搭載し、本人確認をセキュアに行いつつ、学習コンテンツ（動画等）を遠隔地（自宅・病院等）に配信します。

また既存の大規模オンライン学習支援システムにはない、教育のバリアフリー化の実践のために必要な、障害特性に対応したアクセシビリティ機能（情報保障含む）を有します。

2. Zoom[®]について

Zoom[®]とは、ビデオやマイクを接続し、インターネットを通じて同時に複数人と対面で会話することができるビデオミーティングシステムです。Zoom[®]については同社ホームページ（<https://zoom.us>）をご確認ください。

3. 受講環境について

受講には、インターネット接続が可能な端末（カメラ機能が付いているパソコンを推奨）が必要です。

※複数のデバイスで顔画像を登録し、それぞれの端末から受講することも可能です。

- ・ウェブカメラ（内蔵カメラ含む）
- ・キーボード
- ・マイク
- ・推奨ブラウザ

Microsoft Edge(Chromium) : 92

Safari macOS : 12.0

Safari iOS : 13.0

Google Chrome : 92

- ・推奨 OS

Windows : 8.1 - 10

MacOS : 10.13 High Sierra | 11.0 Big Sur

Android : 9-11

iOS : 13 - 14.7

- ・通信速度は 20Mbps 以上を推奨しております。

※上記以降のバージョンでも問題なく動作すると思われませんが、もし動作上の問題が生じた場合は、事務局までメールにてご連絡ください。

〈科目別〉

リアルタイム遠隔授業日程

科目 番号	科目名	日時
1	英語学 A (第二言語習得論)	リアルタイム遠隔授業の開催日時は、ホームページよりご確認ください。 
2	英語学 C (英語語用論)	
3	英語文学 B (英語圏文学)	
4	授業英語コミュニケーション A (Classroom English and Teacher Talk)	
5	授業英語コミュニケーション B (Creating Lesson Plans)	
6	授業英語コミュニケーション C (Using ICT Strategies)	
7	授業英語コミュニケーション D (Paragraph Writing)	
8	異文化理解 A (グローバル・コミュニケーション・スキル)	
9	異文化理解 B (社会言語学)	
10	英語科教育法 B	
11	生徒・進路指導論	
12	教育相談	

〈科目別〉

最終試験の日程

科目 番号	科目名	日時
1	英語学 A (第二言語習得論)	12/8(金) 17:00~19:00
2	英語学 C (英語語用論)	11/16(木) 18:30~19:30
3	英語文学 B (英語圏文学)	12/8(金) 17:00~19:00
4	授業英語コミュニケーション A (Classroom English and Teacher Talk)	12/8(金) 17:00~19:00
5	授業英語コミュニケーション B (Creating Lesson Plans)	12/8(金) 17:00~19:00
6	授業英語コミュニケーション C (Using ICT Strategies)	12/8(金) 17:00~19:00
7	授業英語コミュニケーション D (Paragraph Writing)	12/4(月) 18:30~19:30
8	異文化理解 A (グローバル・コミュニケーション・スキル)	11/17(金) 17:00~19:00
9	異文化理解 B (社会言語学)	11/17(金) 17:00~19:00
10	英語科教育法 B	11/17(金) 17:00~19:00
11	生徒・進路指導論	11/17(金) 17:00~19:00
12	教育相談	11/17(金) 17:00~19:00

複数科目の最終試験が同じ日時に設定されておりますが、複数科目を履修される方は、履修されるすべての科目について受験していただけるように配慮いたします。

最終試験の実施方法については、「志」上でお知らせします。

〈日時別〉

最終試験の日程

※開設科目一覧表とは順が異なりますので、ご注意ください。

月日	時間帯	科目
11月16日(木)	18:30~19:30	英語学C(英語語用論)
11月17日(金)	17:00~19:00	異文化理解A (グローバル・コミュニケーション・スキル)
		異文化理解B(社会言語学)
		英語科教育法B
		生徒・進路指導論
		教育相談
12月4日(月)	18:30~19:30	授業英語コミュニケーションD (Paragraph Writing)
12月8日(金)	17:00~19:00	英語学A(第二言語習得論)
		英語文学B(英語圏文学)
		授業英語コミュニケーションA (Classroom English and Teacher Talk)
		授業英語コミュニケーションB (Creating Lesson Plans)
		授業英語コミュニケーションC (Using ICT Strategies)

複数科目の最終試験が同じ日時に設定されておりますが、複数科目を履修される方は、履修されるすべての科目について受験していただけるように配慮いたします。

最終試験の実施方法については、「志」上でお知らせします。

令和 年 月 日

愛媛大学教育学部長 殿

受講者氏名 _____ ※

(※本人自書により印鑑省略可)

所属校名 _____

勤務先電話番号 (_____ - _____)

愛媛大学 中学校教諭二種（英語） 免許法認定通信教育を受講することを承認します。

所属校名 _____

校長氏名 _____

_____ 職印

令和 年 月 日

愛媛大学教育学部長 殿

受講者氏名 ※

(※本人自署により印鑑省略可)

在職期間 年 か月間

(年 月 日から

年 月 日まで)

所属の教育委員会名

所属の教育委員会電話番号

(- -)

愛媛大学 中学校教諭二種（英語） 免許法認定通信教育を受講するにあたり、在職期間と所属の教育委員会名を届出します。

愛媛大学 中学校教諭二種（英語） 免許法認定通信教育 受講辞退届

受理期限：令和5年11月13日（月）
期限までに受理されるように事務局へご提出ください。

令和 年 月 日

愛媛大学教育学部長 殿

受講者氏名 _____ ※
(※本人自書により印鑑省略可)

志ID _____

所属校名 _____

勤務先電話番号（ _____ - _____ - _____ ）

辞退される科目 いずれか該当する方の□を塗りつぶしてしてください。

- 全科目
- 一部科目

1 受講科目名 全科目・一部科目いずれの場合も、すべて記載してください。

2 辞退理由

上記のとおり相違ありません。

令和 年 月 日

所属校名 _____

校長氏名 _____

_____ 職印